



鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

発行:2011年2月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守



看護職員の能力開発活動に目標管理を導入して

～小さな喜びを積み重ねる視点をもつ～

湘南泉病院 看護部長 鈴木 陽子

目標管理に出会い、その実践を展開したのは4年前の事です。ある文献から『看護の現場に活かせる具体的展開が手法として有効である。』という紹介記事を目にしました。職場環境を把握し、システムづくりの必要性を感じていた矢先のことでした。この言葉から希望の光がさしているかのように感じました。言い換えれば、看護部をまとめるという大きな課題に意欲的に挑戦する勇氣と可能性を示唆してくださったように思え、衝撃でした。そして、看護部としての『ありたい姿、あるべき姿』を描き、ビジョンを固め、看護師長会に提案し、討議し、目標管理の導入に至りました。目標管理のシステムづくりを行い、勉強会、研修会で浸透を図りました。

病院目標、看護部目標、部署目標から個人目標へと落とし込み、実践しました。順調に軌道に乗るまでには紆余曲折がありました。この時、中間管理者である看護師長の力が大きく影響します。個人目標の成果発表に至るには看護師長と部下との面接が重要な鍵となります。コーチング的思考で相手の力を引き出す必要があるからです。部下が自分で考えて自分で答えを出していけるようにじっくりと待つ姿勢が重要です。私自身も看護師長との面接にはコーチング的手法を用います。客観的データでアピールする努力をしました。又、数的評価を行うようにする事で今まで、気付かなかった事に気付き、自分自身の考えが深まったり、新しい発見ができたりと変化していきます。面接が楽しいし、新鮮でもありました。共感が得られ、達成感がさらにいいヒントをうみ、可視化されていきました。

更に、院内継続教育へ思いを馳せてみます。院内継続教育に『自分の看護を語る』と題して体験した喜びや苦い経験から得た学びをスピーチする事を実践していました。自己の看護観に影響し、仲間意識でチームづくりはできていました。そこで、継続教育をどのように「組織の発展に寄与するか」とか、「組織にとっての貢献度」を考えたとき、目標管理の利点を考慮して、院内継続教育にまで落とし込むことを計画しました。看護職員の能力開発計画の基本方針は、『基本的な能力を育み、安心・安全な看護が提供でき、看護の専門性を高め、看護サービスが提供できる、そして、部署における役割を果たす看護職員を育成する。』と、掲げて活動を実践しています。キャリア開発過程のステップ別の到達目標に合わせた方法を取り入れ、実践しました。キャリア別に自分のありたい姿・あるべき姿を描き、個人目標の成果発表を取り入れました。看護部長・副看護部長・看護師長全員が聴講し、意見交換をしました。研修受講後レポートから自分の将来の姿が打ち出されており、仲間の発表に感動し、「このチームで看護の力を高めたい」とか「組織の一員として貢献したい」等の感想文が提出されており、看護師長共々感動しました。

この発想を大切に看護部長に課せられた人材育成は『人が育つ組織づくり』であることを改めて実感しています。現在、退職希望者がいない状況をつくり、看護の質向上に努力している中間管理者の看護師長にアッパレマークを差し上げたいものです。

平成22年度も残り少ないこの時期に人材確保・定着率向上に有益な方法を実践して来られたことに皆様に感謝の意を表したいと存じます。

看護師長合同研修会 開催！

～ プレゼン “師長たちの奮闘記” ～

会場：湘南泉病院会議室



池島常務理事

平成23年1月29日（土）9時～17時、鵬友会各施設の看護師長ら全18名が参集し、22年度看護師長合同研修会が行われました。

まず初めに池島常務理事の講話の中で、「経営者の一員として愛社精神を持ち、部下の育成にあたってほしい」とエールが送られ、続いて鈴木看護部長は、看護管理者としての心構えや目標管理について講義し、「看護職員が病院全体への発信源になっていこう」と呼びかけました。



湘南泉病院
鈴木看護部長

湘南泉病院



片桐副看護部長



三澤看護師長



江口看護師長



高木看護師長



松橋看護師長



中島看護師長



星野看護師長

阿久和鳳荘



吉田看護師長

そしていよいよ各師長のプレゼンテーション。5分間という限られた時間の中でしたが、組織管理や人材育成への取り組みについて、成果がでた時の喜びや達成感、またその過程で生じた苦悩や葛藤がとも伝わり、どれも看護管理者としての業務に対する熱意が込められた内容でした。参加者からは、「苦労もあるがやりがいも感じる」「師長としての立場を再認識できた」「他の師長も悩みながら努力していることに気づき、仲間意識を感じた」といった感想が出され、来年度に繋がる良い情報共有の場になりました。

【本部福島記】

新中川病院



元村看護師長



寺看護師長



松本看護師長



今成看護師長



串田看護師長

横浜ほうゆう病院



佐久間看護師長



新田看護師長



加藤看護師長



原科看護師長



井上作業療法科科长